

硫酸ヒドロキシルアミン

別名:

(NH₂OH)₂·H₂SO₄

劇物:(ヒドロキシルアミン塩類及びこれを含有する製剤)

(性状) 白色結晶。融点170 (分解)。水に溶けやすい。(25 で水100mlに63.7g溶ける)。アルカリと接触するとヒドロキシルアミンを生成する。ヒドロキシルアミンは不安定であり、59 以上で爆発的に分解する。

措 置

漏 え い 時

飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

飛散したものは空容器にできるだけ回収し、回収物を直ちに水に溶かし、回収しきれなかった分は、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。

出 火 時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、しゃへい物の活用等容器の破損に対する防護措置を講じ、容器及び周囲に散水して冷却する。容器が火炎に包まれた場合には爆発・破裂の危険があるので近寄らない。

(着火した場合)

消火剤又は多量の水を用いて消火する。消火作業の際には必ず空気呼吸器その他の保護具を着用し、風下で作業をしない。

(消火剤)

水

暴 露・接 触 時

急性中毒と刺激性

(吸入した場合)

鼻、のど、気管支等の粘膜を刺激し、悪心、嘔吐、下痢、チアノーゼ(皮膚や粘膜が青黒くなる)を起こす。はなはだしい場合には肺水腫を起こし、呼吸困難を起こす。

(皮膚に触れた場合)

皮膚を刺激し、炎症を起こす。皮膚からも吸収され、吸収した場合と同様の中毒症状を起こす。

(眼に入った場合)

粘膜を刺激し、炎症を起こす。

医師の処置を受けるまでの救急方法

(吸入した場合)

直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。呼吸が困難な場合又は呼吸が停止している場合には、直ちに人工呼吸を行い、心臓が停止している場合には直ちに心臓マッサージを行う。

(皮膚に触れた場合)

直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせ、付着部又は接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。

注 意 事 項

吸入した場合、皮膚に触れた場合には、メトヘモグロビン血症(血液毒性)を起こすことがある。中毒症状が発現した場合には、至急医師による適切な手当てを受ける。

保 護 具

保護眼鏡、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、防じんマスク

(火災時:空気呼吸器)